

Ⅱ 重点取組施策

Ⅱ 重点取組施策



重点取組施策イメージアイコン

1 「みんなのまち」への市民自治づくり

これからの大竹市のあるべき姿とは、大竹市に関わる全ての市民の皆さんが、様々な形で積極的に「まちづくり」に関わることでと考えています。ここで言う「市民」とは大竹市に住んでいる人はもちろんのこと、働く人、学ぶ人、買物にくる人、遊びにくる人といった様々な人を意味しています。この“市民”の皆さんに「行政サービスの担い手」になっていただき、行政とともにまちづくりを進めていきたいと考えています。

本来、皆さんに納めていただいた税金を、皆さんが必要としているサービスとして提供することは行政の役割です。しかしながら、財源には限りがあり、多様化する市民ニーズに充分に応えていくことが難しくなっています。また、行政運営を市役所に全部任せてしまう「お任せ行政」では、市民の皆さんの本当の幸せにつながるサービスは提供できません。

そこで、市民、議会、行政の役割を明確にし、お互いに連携しながらまちづくりを進める体制づくりが必要だと考えています。地域の持つ「人」「知恵」「工夫」といった力を存分に発揮していただき「自分たちでできることは、自分たちで行う」ことが、「市民サービスの向上」や「生きがいづくり」に結びつき、結果として、住みやすく活力ある大竹市へつながるものと確信し「市民自治づくり」を推進していきます。



重点取組施策イメージアイコン

2 子育て・子育てのための環境づくり

これからの大竹市をつくっていく“人”が集い、住んでくれる“まち”であるために、次世代を担う子どもたちを安心して育てられ、子どもたちが育つ仕組み・環境を整えていきます。

核家族化の進展やコミュニティー環境の変化などにより、子育てに悩んだり、相談相手がいなかったりと、不安を抱えて育児を行うケースが増加しています。

安心して子育てができるよう、ソフト面を重視した子育て支援に重点を置き、子どもを育てやすい環境を整備していきます。

また、教育施設などのハード面では、子どもが安心して学ぶことができるよう、安全面に重点を置いた取り組みを行います。

大竹市で生まれた、あるいは育った子どもたちが、「大竹市で子育てをしたい」と感じられるような施策を展開していきます。



重点取組施策イメージアイコン

3 産業振興による魅力ある都市づくり

大竹市の持つ産業基盤や高度な技術力は、それぞれの時代のなかで先人たちが築いてきた「かけがえのない財産」です。大竹市の「大きな魅力」である産業を中心とした、活力ある“まち”であり続けるために産業振興につながる取り組みを行います。

商工業をはじめとした産業の振興を図ることで、「収入を得る機会の増加」と「安定した収入を確保」することで、活力ある“まち”をつくりあげていきます。